

# 月刊 社会保険 9

2017 VOL.806

一般社団法人  
全国社会保険協会連合会

厚生労働大臣、厚生労働副大臣および厚生労働大臣政務官 就任

協会けんぽ(医療分)の28年度決算(見込み)について<協会会計と国の特別会計との合算へス>

協会けんぽからのお知らせ

70歳以上の方の高額療養費の上限額が変わりました(平成29年8月診療分から)

日本年金機構からのお知らせ

日本年金機構ホームページに「障害のある方」ハナーを新設しました。

厚生労働省の組織再編について(概要)

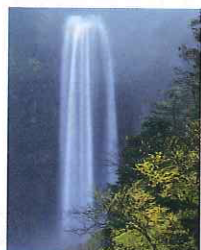
平成28年度年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)の運用状況(概要)

厚生労働大臣、厚生労働副大臣および厚生労働大臣政務官 就任	5
協会けんぽ(医療分)の28年度決算(見込み)について<協会会計と国の特別会計との合算ベース>	6
<b>協会けんぽからのお知らせ</b>	
70歳以上の方の高額療養費の上限額が変わりました(平成29年8月診療分から)	10
<b>日本年金機構からのお知らせ</b>	
日本年金機構ホームページに「障害のある方」バナーを新設しました。	11
厚生労働省の組織再編について(概要)	12
平成28年度年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)の運用状況(概要)	16
年金・健康保険委員活動報告 健康で生き活きと活躍できる環境をめざし	18
株式会社KVK総務部長 北川 喜一	
あの人 この人 私たち 第5回 ニューヨークでメッツとメトロが大乱闘	20
エッセイスト 藤川 鉄馬	
書評 香取 照幸著『教養としての社会保障』	23
損をしたくない人が損をしがちな心理学 第5回 松竹梅で“竹”を選ぶ心理	24
経済コラムニスト 大江 英樹	
自分らしく生きる社会とは	
第11回 「明日が来るのが待ち遠しくなる」介護をつくる—2030年を「自分らしく」生きる社会にするためにできること—	26
介護×インクルーシブデザイン実行委員会 角田 葵・井上 瑞菜	
しなやかなからだづくり 第5回 高齢期の運動と認知機能	28
お茶の水健康長寿クリニック院長 白澤 卓二	
社会保険Q&Aシリーズ 健康保険編 30 / 年金保険編 32 / 介護保険編 34 / 労働保険編 36	
特定社会保険労務士 鈴木 ひろみ	

表紙写真・竹内敏信/イラストレーション・水森亜土/デザイン・STデザイン、(有)フェイム/編集協力・(株)アップルハウス/印刷・(株)エイエヌオフセット

表紙のことば——竹内敏信 「光の響」「平湯大滝」

岐阜県高山市



秋から冬にかけて、滝の水量は徐々に少なくなっていく。  
 そのような条件のときは、写真のようにスローシャッターで撮影するのがお勧めである。低速でとらえると、多くの流れをあわせて描写することができる。そうすることで滝の繊細さや細やかな表情を撮ることができる。  
 目で見た力強い雰囲気とは違い、これも滝の優しい表情。  
 季節の特徴を生かして自然と対話し、一番美しい表情を見つけて撮る。それが風景写真家である私の使命なのである。

© 本誌制作にあたっては、国等からの補助金等を一切受けておりません。

健康で生き活きと活躍できる環境をめざし



株式会社KVK総務部長  
北川 喜一

●当社の紹介  
当社の本社所在地である岐阜県岐阜市は、日本のほぼ真ん中に位置しており、名古屋から北に電車で約30分の場所にあります。市内には、約1300年の伝統がつづく鶴飼で全国的にも名高い清流長良川が流れており、長良川の畔にある金華山の頂には、歴代の戦国武将が居住された岐阜城がある美しい自然と歴史が息づく街にあります。

本社は、岐阜市の西北部にある岐阜市黒野地区にあります。当社は、昭和14年に名古屋市昭和区御器所町にて北村工業所として創業し、昭和20年に戦災により岐阜市黒野に疎開して事業を再開した後、昭和24年に社名を北村バルブ株式会社と改名し、水栓金具の製造、販売を開始しました。

昭和33年に給水栓（JIS2061）の日本工業規格表示許可工場に指定され、現在は、岐阜県加茂郡富加町にある富加工場と海外は中華人民共和国遼寧省大連経済技術開発区にある大連工場の2拠点が日本工業規格表示許可工場となっています。平成4年に社名を株式会社KVK（登記上は株式会社ケーブイケー）と改名し、現在に至っています。

昨年（平成28年）11月に、本社機

能を富加工場に移設し、現在は富加本部として機能しています。本部がある岐阜県加茂郡富加町は、現存する日本最古の戸籍として、奈良東大寺正倉院に残っている「御野國半布里戸籍」に記されている場所であり、太古から人々が生活をしている歴史のある地域です。また、町内には多くの古墳が存在し、当時の勢力を伺わせます。

富加町のある岐阜県中濃地方は岐阜県内でも比較的地震の発生につながる活断層が少なく、近年でも大型地震の発生がみられません。私見ではありますが、太古の昔から人々が、この地を選んで生活をしてきた背景には、このような地の利をなんらかの方法で知っていたのかもしれない。

当社の事業は、システムキッチン、ユニットバス（浴槽）、洗面化粧台などで湯水を出し止める湯水混合水栓やシャワー付湯水混合水栓、水のみを出し止める単独水栓や湯水配管の止水、ガーデン等で水やりに使う単水栓等を中心として、屋内で湯水を給水栓まで運ぶための配管継手金具、防災設備であるスプリンクラー用の継手、水栓関連パーツ等、水まわりに関するあらゆる製品の開発・設計、製造、販売、アフターサ

ービスを一貫して行っています。

近年では、社会の環境意識の向上に伴い、エコ型製品を多く市場に投入しています。

●末永く元気に働ける環境へ  
当社では、毎年1回、全社員を対象として行う定期健康診断以外に、35歳以上の社員を対象として、希望者全員が受けることのできる生活習慣病予防健診の年2回の健康診断を実施しています。専属ではありませんが、近隣の病院の産業医、保健師と契約し、年2回分の健診結果をご確認いただき、社員へ保健指導を実施してもらうことで、重篤な疾病につながることを予防しています。

過重労働対策として、毎月45時間以上の時間外労働を行った社員については、アンケート形式で疲労蓄積度の確認を行い、結果を安全衛生環境委員会で報告するとともに、過重労働対策に役立てています。疲労蓄積度が高いと判定された社員については、産業医との面談も実施しています。

育児休業は、ここ2年間で21名の社員が取得しており、現在、休業中の2名を除く、18名が職場復帰しています。

復帰時の問題として、お子さんの

保育所への入園が決まらず、育児休業期間を延長せざるを得ないことの相談がときどき寄せられ、当社では育児休業期間は1年+6カ月の法定どおりですので、タイミングによっては、年度の途中で保育園に入園できず、育児休業が終了しても、復帰できないことがあります。

また、社員からは、子どもの小学校入学時から低学年頃までを柔軟に働くことができるような制度の要望がありましたので、昨年の10月に「復職制度」を制定し、子どもが1歳から小学生6年生までの期間で、退職時と同条件で会社に復職できる制度を導入しました。

会社は一端退職することにはなりません、安心して子育てに専念してもらい、子育てが落ち着いてきたら、また元の職場で元気に働いていただく制度として定着させたいと思います。すでに今年1名が復職制度を利用して退職しています。

当社では定年を60歳と定めており、定年以降、希望のあった社員については、65歳までの再雇用制度により継続して雇用されています。65歳を迎えた社員の中でも、まだまだ元気に働きたいと希望される人も多く、当社としても、長年に渡り習得された技能技術を会社に生かしても

らえるメリットもあり、本年4月より有期雇用契約ですが、70歳まで働くことができる制度を創設しました。

年齢的に身体面も考慮して、所定内労働時間および勤務シフトを通常勤務より少なくして、ワークシェアも可能な制度となっています。

●年金委員・健康保険委員としての活動

昨年11月に、本社機能を本社（岐阜市）から富加本部（加茂郡富加町）に移したため、年金適用事業所が岐阜北年金事務所から美濃加茂年金事務所に変更されたことにより、岐阜北社会保険委員会の理事を退任しました。

年金委員・健康保険委員の委嘱を受けた後、当時は、岐阜北社会保険委員会岐阜北支部として第一支部と第二支部の2支部で運営されていたため、平成20年から第一支部の役員として参加させていただきました。

役員会や定時総会は支部ごとに運営されていたのですが、年1回の優良事業所視察研修については、第一支部と第二支部が合同で運営しており、その節には、各支部の役員や会員との交流もできて見聞を広げることができました。

平成23年に、支部の事業運営の効率化を図るため、第一支部と第二支部を岐阜北社会保険委員会岐阜北支部として統合しました。支部統合を機会に、支部の事務局理事として、委員会と支部の役員会、定時総会、優良事業所視察研修などの企画運営を担当しました。

平成27年には、委員会と支部の運営の効率化を目的に、支部を廃止し、岐阜北社会保険委員会に統合しました。統合までには、規約変更や組織運営の方法など、決定する事項も多く、年金事務所にも大変お世話になりながら、なんとか統合することができて大変よかったです。

健康保険委員活動としては、現在、全国健康保険協会（協会けんぽ）岐阜支部の評議員に被保険者代表として参加しています。被保険者代表として、社会保険料の上昇を少しでも抑えることができるよう、ジェネリック薬品の普及や協会活動に関し、



株式会社KVK

微力ではありますが、自分なりに意見を出しています。個人的にもジェネリック薬品の普及にひと役立てればと、健康保険証にジェネリック薬品希望のシールを貼っています。

最後に、全国の年金委員・健康保険委員の皆様方の今後のますますのご活躍を心より祈念いたします。

（美濃加茂社会保険委員会所属 全国健康保険協会岐阜支部評議員）